

岡本喜八 構成・演出・ナレーションによる幻の短編映画

『全康さんの一日』

足立美術館 〔島根県安来市〕にて限定公開中!



撮影中の岡本監督(左)と足立全康(右)



構成・演出・ナレーター
岡本喜八



毎週土曜日上映

幻の短編映画 |

全康さんの一日

1975年 / 24分 / カラー

構成・演出・ナレーター:岡本喜八 / 出演:足立全康

足立美術館創設者・足立全康の一日を、軽妙でユーモラスな視点で捉えた好編。岡本監督自身がナレーターを担当。

足立美術館では、映画界の鬼才・岡本喜八(1924~2005)の監督作品を毎週土曜日に上映しています。

足立美術館と岡本喜八監督の関係は今から40年以上前に遡ります。当館創設者の足立全康(1899~1990)と友人であった岡本喜八監督は、1970年の開館時から当館の理事を長年にわたり務めていただきました。理事就任以来、当館への助言をはじめ、PR映画や短編ドキュメンタリー映画も製作していただくなど、大変お世話になりました。それらのご恩もあり、少しでも多くの方々に岡本喜八監督の作品を知っていただきたいと考え、本企画の開催に至りました。また、その魅力を後世にも途切れさすことなく伝えたいとの思いから、特に終了期限を設けず、上映を続ける予定です。2017年10月~2018年3月は、劇場映画全39作品の中から計26作品を上映します。

岡本喜八監督指揮のもと、開館5年目に製作された『全康さんの一日』(1975年製作)は、足立全康(撮影当時76歳)のとある一日を、岡本喜八監督らしい軽妙な視点で捉えた短編映画です。全康が美術館の経営や作庭に邁進する姿を、ときに虚構的に、ときに喜劇的に捉えることで一人の人物像が浮かび上がってくるという、まさに岡本流の記録映画とも言える構成になっています。岡本喜八監督自身がナレーションも担当している珍しい作品でもあります。記念映画として製作されたため、一般には未公開のままでしたが、当館限定で公開しています。映画本編前に上映しますので、ぜひこの機会にご覧ください。

※各上映作品のラインナップは裏面をご参照ください。

●足立美術館……実業家・足立全康が長年にわたって蒐集した美術品をもとに、昭和45年に島根県安来市に開館しました。横山大観をはじめとする近代日本画を中心とした魅力的なコレクションの数々を所蔵しています。また「庭園も一幅の絵画である」という全康の信念のもと作庭された50,000坪に及ぶ日本庭園は、米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」の日本庭園ランキングで、初回の2003年から連続で「庭園日本一」に選ばれるなど国内外で高い評価を得ています。

毎週土曜日13時~劇場映画1作品と伴映

新館・アートシアター | 入場無料 | 12時30分開場 13時~『全康さんの一日』上映 13時30分~劇場映画1作品上映 | 定員84名
主催:足立美術館 | 協力:東宝、喜八プロダクション



www.adachi-museum.or.jp

岡本喜八監督 劇場映画作品 | 10月～2018年3月末までの上映作品

※各作品上映前に「全康さんの日」(24分)を上映。

ああ爆弾

1964年／東宝／95分／白黒／出演:伊藤雄之助、砂塚秀夫、越路吹雪、中谷一郎、沢村いき雄、本間文子、二瓶正也、天本英世
ヤクザの親分が組を乗っ取った新興ヤクザ相手に万年筆爆弾で命を狙おうとする。ジャズからワルツ、浪曲に御説歌まで駆使した和製ミュージカル・コメディ。

10月7日

殺人狂時代

1967年／東宝／99分／白黒／出演:仲代達矢、団令子、砂塚秀夫、天本英世、滝恵一、富永美沙子、久野征四郎
芽えない大学教授にさし向けられた13人の殺し屋たちの対決!理屈抜きに面白い、喜八タッチ炸裂の娯楽アクションコメディ。

10月14日

江分利満氏の優雅な生活

1963年／東宝／102分／白黒／出演:小林桂樹、新珠三千代、東野英治郎、矢内茂、横山道代、中丸忠雄、天本英世、砂塚秀夫
山口瞳の直木賞受賞作の映画化。平凡なサラリーマンを通して、戦中派の悲哀と屈折した心情を描く。アニメーションやミュージカル、斬新な編集にも注目。

10月21日

侍

1965年／東宝、三船プロ／122分／白黒／出演:三船敏郎、小林桂樹、伊藤雄之助、松本幸四郎、新珠三千代、志村喬
戦前から繰り返し映画化された『侍ニッポン』を重厚な時代劇に仕上げた。幕末、浪人・新納鶴千代は井伊直弼の暗殺を謀る水戸浪士の一団に身を投ずる。

10月28日

斬る

1968年／東宝／114分／白黒／出演:仲代達矢、高橋悦史、中村敦夫、神山繁、岸田森、久保明、久野征四郎、中丸忠雄、星由里子
藩の争いに巻き込まれたふたりの浪人と若き7人の武士の活躍をダイナミックに描く。山本周五郎の原作を元に映画化した娯楽時代劇の決定版。

11月4日

大誘拐 RAINBOW KIDS

1991年／「大誘拐」製作委員会／119分／カラー／出演:北林谷栄、緒形拳、風間トオル、内田勝康、西川弘志、樹木希林、嶋田久作
3人の若者によって誘拐された紀州一の地主である老婆が、逆に誘拐犯のリーダーとなり、家族に100億円の身代金を要求する!大ヒットした痛快犯罪コメディ。

11月11日

肉弾

1968年／「肉弾」つくる会、ATG／116分／白黒／出演:寺田農、大谷直子、笠智衆、北林谷栄、田中邦衛、仲代達矢(ナレーター)
岡本喜八自身をモデルにしたと思われる、ひとりの特甲幹の青年の眼から終戦を見つめた青春喜劇。岡本喜八の想いのほとばしる傑作。

11月18日

日本のいちばん長い日

1967年／東宝／158分／白黒／出演:三船敏郎、山村聡、笠智衆、藤田進、黒沢年男、高橋悦史、佐藤允、小林桂樹、加山雄三
昭和20年8月14日から翌15日にかけて、終戦に至るまでの狂騒と緊迫の24時間。オールスターキャスト、緊張感あふれるドキュメンタリータッチで描いた大作。

11月25日

血と砂

1965年／東宝、三船プロダクション／132分／白黒／出演:三船敏郎、団令子、仲代達矢、佐藤允、伊藤雄之助、天本英世、名古屋章
北支戦線を舞台上、男気溢れる曹長と少年軍楽隊の死闘を描いたミュージカル仕立ての戦争映画。反戦映画としては他に類を見ない軽妙かつ壮絶な作品だ。

12月2日

激動の昭和史 沖縄決戦

1971年／東宝／149分／カラー／出演:小林桂樹、丹波哲郎、仲代達矢、田中邦衛、岸田森、中谷一郎、高橋悦史、加山雄三、大空真弓
太平洋戦争末期、本土の捨て石となった悲惨な地上戦を体験した沖縄の軍人と民間人の運命を描いた壮絶な戦争スペクタクル。近年再び評価の高い作品。

12月9日

近頃なぜかチャールストン

1981年／喜八プロ、ATG／117分／白黒／出演:利重剛、古館ゆき、財津一郎、本田博太郎、小沢栄太郎、田中邦衛、今福将雄
当時の世相にきな臭さを感じた岡本監督が、さらりと主張を練り広げたコメディ。非行少年が留置場で出会った不思議な老人たち。奇妙な共同生活が始まり…。

12月16日

ブルークリスマス

1978年／東宝映画／133分／カラー／出演:勝野洋、竹下景子、仲代達矢、岡田英次、岡田裕介、小沢栄太郎、高橋悦史
世界各地でUFOの目撃が相次ぐと同時に、青い血を持った人間が発見される。だがその事実を政府は隠蔽しようとする。スリリングな演出が冴えるSFサスペンス。

12月23日

月給泥棒

1962年／東宝／93分／白黒／出演:宝田明、司葉子、十朱久男、宮口精二、若林映子、ジェリー伊藤
出世計算機と呼ばれる男が海外からやってきたバイヤーと大きな取引を狙うが…。ドライな現代サラリーマンが狙う恋と出世を描いた痛快喜劇。

12月30日

座頭市と用心棒

1970年／勝プロ／115分／カラー／出演:勝新太郎、三船敏郎、若尾文子、米倉斉加年、嵐寛寿郎、滝沢修、岸田森、寺田農
あの『座頭市』と『用心棒』の夢の対決を、社会からはみ出した二人の原作の話としてハードボイルドに描き、シリーズ最大のヒットとなったファン必見の話題作。

1月6日

ある日わたしは

1959年／東宝／95分／カラー／出演:上原美佐、宝田明、山田真二、水野久美、三宅邦子、上原謙、沢村貞子
聡明で美しい娘・ゆり子は、男らしい魅力に溢れた医大生と出会い恋に落ちるが…。石坂洋次郎の原作を映画化した青春メロドラマ。

1月13日

にっぽん三銃士 おさらば東京の巻

1972年／東宝／88分／カラー／出演:小林桂樹、ミックキー安川、岡田裕介、藤岡麻里、加賀まりこ
五木寛之の原作を映画化した二部作の前編。40代の戦中流、30代の戦後流、20代の戦無派という異なる3人が意気投合して引き起こす大騒動を軽妙に描く。

1月20日

にっぽん三銃士 博多帯しめ一本ごっこ巻

1973年／東宝／96分／カラー／出演:小林桂樹、ミックキー安川、岡田裕介、藤岡麻里、市川崑、田中邦衛
五木寛之の原作を映画化した二部作の後編。東京を飛び出した三人組が九州・博多を舞台に、地元ヤクザの組織を相手に大立回りを繰り広げる。

1月27日

妻三四郎

1977年／東宝／143分／カラー／出演:三浦友和、秋吉久美子、田中邦衛、仲代達矢、丹波哲郎、森繁久彌、若山富三郎
かつて黒澤明も映画化した明治の柔道家・三四郎の活躍を豪華キャスト競演でリメイク。爽やかな青春映画として岡本流に描いた。

2月3日

顔役暁に死す

1961年／東宝／97分／カラー／出演:加山雄三、島崎雪子、水野久美、中谷一郎、柳永二郎、田中邦衛
留守中に父を殺害されたアラスカ帰りの男が、ギャング団の抗争に巻き込まれながら犯人捜しに奔走する。洋画テイストをふんだんに盛り込んだ犯罪サスペンス。

2月10日

ごぶ鼠作戦

1962年／東宝／102分／白黒／出演:加山雄三、佐藤允、夏木陽介、中谷一郎、田中邦衛、砂塚秀雄、中丸忠雄、ミックキーカーチス
参謀救出の密命を受け、一癖ある5人の男たちが敵陣へと乗り込む。『独立愚連隊』の流れを汲む西部劇調の戦争活劇で、公開当時大ヒットを記録した。

2月17日

大学の山賊たち

1960年／東宝／94分／カラー／出演:久保明、江原達治、ミックキーカーチス、山崎努、佐藤允、白川由美、鶴田浩二、越路吹雪、上原謙
吹雪に襲われた山岳部員とデパートガールの一行が、ある山荘へ逃げ込むが、そこへギャングに幽霊まで現れて…。娯楽要素を徹底的に盛り込んだ痛快編。

2月24日

青葉繁れる

1974年／東宝／87分／カラー／出演:草刈正雄、丹波義隆、秋吉久美子、伊藤敏孝、名古屋章、十朱幸代
岡本監督自身も大ファンだった井上ひさしによる同名小説の映画化。仙台の名門高校に通う落ちこぼれ4人組妄想ばかりしているが巻き起こす青春喜劇。

3月3日

大菩薩峠

1966年／東宝／120分／白黒／出演:仲代達矢、新珠三千代、加山雄三、内藤洋子、西村晃、三船敏郎
大衆小説の元祖の喜八版映画化。アメリカはじめ海外で評価の高い一本。虚無に取り憑かれた剣士・机龍之介。無名の闇をさまよう彼の運命とは?

3月10日

結婚のすべて

1958年／東宝／85分／白黒／出演:雪村いづみ、新珠三千代、三橋達也、山田真二、上原謙、仲代達矢、団令子、三船敏郎(特別出演)
岡本監督の記念すべきデビュー作であり、リズムカルでスピーディなテンポはまさに岡本作品の原点。モダンなセンスで当時の風俗を切り取った鮮烈作だ。

3月17日

独立愚連隊

1959年／東宝／108分／白黒／出演:佐藤允、中谷一郎、雪村いづみ、中丸忠雄、上原美佐、鶴田浩二、夏木陽介、三船敏郎
日中戦争の最前線において、軍の規律をもとめないハミ出し者揃いの守備隊の活躍を描く。西部劇へのオマージュに溢れた日本初の娯楽戦争活劇。

3月24日

独立愚連隊西へ

1960年／東宝／107分／白黒／出演:佐藤允、加山雄三、フランキー堺、久保明、中谷一郎、中丸忠雄、平田昭彦、水野久美
『独立愚連隊』のヒットによって製作された第2弾。活劇のなかになじリズムを漂わせた前作とはまったく異なる、破天荒かつコメディ色が強い、陽性の戦争活劇。

3月31日

| |
|---|
| <div><div></div>岡本喜八 おかもときはち(1924年～2005年)</div> |
| <p>1958年に『結婚のすべて』で鮮烈なデビューを飾る。日中戦争を舞台にした物語を西部劇風に描き、それまでの戦争映画の常識を覆した『独立愚連隊』(1959年)や、8月15日の終戦を緊張感あふれるドキュメンタリータッチで描いた大作『日本のいちばん長い日』(1967年)、自身の戦争体験をベースに、ある特攻隊員の日を青春喜劇として描いた『肉弾』(1968年)など、同じ戦争映画ながら全く異なる趣向で描くその姿勢には、まず映画として面白くなくてはならないという、活動屋としての職人気質がうかがえる。その他にも喜劇、時代劇、ミュージカル、SFサスペンスなど多彩なジャンルを手がけ、常に娯楽性にあふれた大胆不敵な作風は、現在に至るまで多くの映画ファンを魅了している。</p> |
| <p>※上映はフィルムではなく、プロジェクターでの上映となります。</p> <p>※日時、内容は変更になる場合があります。ご来場前にホームページ(http://www.adachi-museum.or.jp/)等でお確かめ下さい。</p> <p>※作品によっては製作されてから長い年月が経過しているものがあり、画面・音声必ずしも良好でない場合があります。何卒ご了承ください。</p> <p>※事前のご予約は承っておりません。</p> <p>※開映時間を過ぎたからのご入場はお断りさせていただきます。あらかじめご了承ください。</p> |

- 足立美術館** 〒692-0064 島根県安来市古川町320
- お問い合わせ** ☎0854-28-7111(年中無休)
- アクセス:** JR安来駅より、便利な無料シャトルバスを毎日運行しています。お気軽にご利用ください。